



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社角川グループホールディングス
コード番号 9477 URL <http://www.kadokawa-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 辰男
問合せ先責任者 (役職名) 取締役統括マネジャー (氏名) 高山 康明

TEL 03-3238-8561

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	80,125	18.0	3,792	9.8	4,357	27.0	1,601	△44.4
24年3月期第2四半期	67,906	1.5	3,453	38.8	3,431	18.2	2,878	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 2,684百万円 (5.8%) 24年3月期第2四半期 2,538百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	61.87	55.09
24年3月期第2四半期	112.48	98.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	129,192	78,815	60.3
24年3月期	128,751	77,050	59.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 77,916百万円 24年3月期 76,231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	155,000	5.2	8,000	41.4	8,300	40.6	4,700	30.4	181.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	27,260,800 株	24年3月期	27,260,800 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,377,406 株	24年3月期	1,377,472 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	25,883,368 株	24年3月期2Q	25,592,305 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（以下「当期」という。）におけるわが国経済は、個人消費が内需を牽引し復調の兆しを見せていましたが、欧州債務問題や長期化する円高などにより、依然として先行きは不透明な状況となっております。

こうした環境下、当社グループは出版事業を軸にしながら、その事業領域に留まらずコンテンツを多メディアへ有機的に展開することで、先進的な総合メディア企業への変貌を遂げる過程にあります。特に飛躍的な成長が期待できる電子書籍市場に対しては、独自の配信プラットフォーム「BOOK☆WALKER」を中心にデジタルコンテンツの充実と拡販を進め、一方、電子書籍書店に対しても意欲的に作品の供給を行っております。

書籍関連では、シリーズ作品の拡充、メディアミックスを推進した一般文庫が引き続き好調を持続しております。また、クールジャパンの一翼を担うライトノベルやコミックスも堅調に推移しておりますが、コミックスにおける今後の成長を持続するために新規作品を積極的に投入したこともあり、返品率が上昇し収益性への影響も出ました。

雑誌・広告関連では、依然として市場環境の悪化は続いておりますが、固定費の削減による収益力の回復は着実に進捗し、スマホ向けサービス「ザテレビジョン デジタル」などネットにおける既存ブランドの活用も進めております。

映像関連では、公開映画「貞子3D」の大ヒットやアニメ作品のパッケージ販売等が売上増に寄与し、収益性の改善が進みつつあります。引き続き保有するIPの活用を進め、出版と映像のシナジーの最大化を図ってまいります。

ネット・デジタル関連では、好調な書籍事業で創出したコンテンツの展開を加速させております。特に「BOOK☆WALKER」において積極的なコンテンツ投入やキャンペーンを継続的に実施しユーザー数と販売数を伸ばしております。また、当期サービスを開始した新規電子書籍書店との取引も先んじて取り組み、電子書籍市場全体における存在感を示すことができました。

海外関連では、台湾における出版事業が堅調に推移し、香港においては現地における映画市場の盛り上がりを実感に取り込み売上を伸ばしております。

この結果、当期の連結業績は、売上高801億25百万円（前年同期比18.0%増）、営業利益37億92百万円（前年同期比9.8%増）、経常利益43億57百万円（前年同期比27.0%増）となりましたが、特別損失に投資有価証券評価損14億66百万円を計上したこともあり、四半期純利益は16億1百万円（前年同期比44.4%減）となりました。

なお、セグメント情報との関連は、単一セグメントであるため記載を省略しております。

各ジャンルにおける売上貢献作品は次のとおりであります。

（単行本）

「上昇思考」長友佑都、「光圀伝」沖方丁(角川書店)

「ラグナロクオンライン 10thアニバーサリー ビジュアルクロニクル」(アスキー・メディアワークス)

「20歳若く見えるために私が実践している100の習慣」南雲吉則(中経出版)

（文庫）

「天地明察(上)(下)」沖方丁、「おおかみこどもの雨と雪」細田守(角川書店)

「ビブリア古書堂の事件手帖」三上延(アスキー・メディアワークス)

（ライトノベル）

「ソードアート・オンライン」川原礫、

「俺の妹がこんなに可愛いわけがない」伏見つかさ(アスキー・メディアワークス)

「僕は友達が少ない」平坂読(メディアファクトリー)

「ハイスクールD×D」石踏一榮(富士見書房)

（コミックス）

「世界一初恋」中村春菊(角川書店)

「テルマエ・ロマエ」ヤマザキマリ、「乙嫁語り」森薫(エンターブレイン)

「となりの関くん」森繁拓真(メディアファクトリー)

（劇場映画）

「貞子3D」「図書館戦争 革命のつばさ」「天地明察」(角川書店)

（DVD、Blu-ray）

「氷菓」「ミクの日大感謝祭」「タンタンの冒険ユニコーン号の秘密」(角川書店)

「僕は友達が少ない」「アクエリオンEVOL」「ハイスクールD×D」(メディアファクトリー)

(ゲーム)

PSP「ストライクウィッチーズー白銀の翼ー」(角川書店)

PS3、Xbox360「LOLLIPOP CHAINSAW」(角川ゲームス)

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産は、前期末に比べて4億41百万円増加し、1,291億92百万円となりました。受取手形及び売掛金が減少したものの、営業活動によるキャッシュ・フローの増加により現金及び預金が増加しました。

負債は、前期末に比べて13億23百万円減少し、503億77百万円となりました。支払手形及び買掛金並びにその他流動負債がそれぞれ減少しました。

純資産は、前期末に比べて17億64百万円増加し、788億15百万円となりました。その他有価証券評価差額金が増加したことに加え、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加しました。

自己資本比率は、期首に比べて1.1ポイント上がり、60.3%となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益27億51百万円、売上債権の減少19億34百万円、費用未支出項目である投資有価証券評価損14億66百万円等により、62億42百万円の収入(前年同期は14億70百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の満期償還による収入6億円、有形固定資産の取得による支出5億22百万円、無形固定資産の取得による支出7億7百万円、投資有価証券の取得による支出9億31百万円等により、14億22百万円の支出(前年同期は60億7百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払9億5百万円等により、8億29百万円の支出(前年同期は8億59百万円の収入)となりました。

以上の結果、為替換算差額を含めて40億69百万円の収入となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、160億3百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く経営環境は、きわめて流動的に変移しておりますが、その中においても当社グループは常に更なる成長を志向し、新規事業への挑戦を続け、市場や顧客のニーズに応えるコンテンツを創出してまいります。

第3四半期以降におきましては、書籍販売の拡大、返品率の抑制、出版と映像のシナジーを發揮した劇場映画やパッケージ商品の投入、電子書籍配信プラットフォーム「BOOK☆WALKER」での拡販等により業績を伸張してまいります。

通期の連結業績予想につきましては、平成24年4月26日に公表した業績予想からの修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,245	16,288
受取手形及び売掛金	44,315	42,792
有価証券	601	—
たな卸資産	14,061	13,665
繰延税金資産	4,544	4,171
その他	3,578	2,737
貸倒引当金	△110	△68
流動資産合計	79,235	79,587
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,234	8,002
工具、器具及び備品(純額)	1,749	1,718
土地	10,497	10,497
その他(純額)	720	623
有形固定資産合計	21,202	20,842
無形固定資産		
のれん	892	767
その他	2,250	2,429
無形固定資産合計	3,142	3,197
投資その他の資産		
投資有価証券	13,880	14,520
繰延税金資産	1,946	1,574
その他	9,608	9,768
貸倒引当金	△264	△298
投資その他の資産合計	25,170	25,565
固定資産合計	49,515	49,604
資産合計	128,751	129,192

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,780	19,487
短期借入金	121	109
未払法人税等	681	803
賞与引当金	1,366	1,548
返品調整引当金	3,905	4,069
その他	10,273	9,033
流動負債合計	36,129	35,049
固定負債		
新株予約権付社債	11,000	11,000
長期借入金	175	213
繰延税金負債	349	213
退職給付引当金	2,616	2,683
その他	1,429	1,216
固定負債合計	15,570	15,327
負債合計	51,700	50,377
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,330	26,330
資本剰余金	27,375	27,375
利益剰余金	30,695	31,349
自己株式	△3,932	△3,932
株主資本合計	80,468	81,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△885	△26
土地再評価差額金	△328	△328
為替換算調整勘定	△3,023	△2,851
その他の包括利益累計額合計	△4,236	△3,206
少数株主持分	819	899
純資産合計	77,050	78,815
負債純資産合計	128,751	129,192

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	67,906	80,125
売上原価	49,740	59,535
売上総利益	18,165	20,589
返品調整引当金戻入額	3,526	3,906
返品調整引当金繰入額	3,436	4,069
差引売上総利益	18,255	20,427
販売費及び一般管理費	14,801	16,635
営業利益	3,453	3,792
営業外収益		
受取利息	23	30
受取配当金	95	100
負ののれん償却額	40	40
持分法による投資利益	10	152
受取保険金	20	165
古紙売却益	76	84
その他	95	61
営業外収益合計	362	634
営業外費用		
支払利息	76	66
複合金融商品評価損	294	—
その他	14	3
営業外費用合計	384	69
経常利益	3,431	4,357
特別利益		
持分変動利益	—	115
退職給付制度改革益	19	—
その他	5	1
特別利益合計	24	116
特別損失		
固定資産除却損	149	29
減損損失	—	149
投資有価証券評価損	9	1,466
出資金評価損	8	—
会員権評価損	10	9
特別退職金	11	59
その他	0	7
特別損失合計	189	1,722
税金等調整前四半期純利益	3,266	2,751
法人税等	325	1,110
少数株主損益調整前四半期純利益	2,940	1,641
少数株主利益	62	39
四半期純利益	2,878	1,601

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,940	1,641
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△221	858
為替換算調整勘定	△180	173
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	11
その他の包括利益合計	△402	1,043
四半期包括利益	2,538	2,684
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,477	2,631
少数株主に係る四半期包括利益	61	52

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,266	2,751
減価償却費	936	1,126
減損損失	—	149
のれん償却額	58	102
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	75	67
受取利息及び受取配当金	△118	△130
支払利息	76	66
持分法による投資損益 (△は益)	△10	△152
投資有価証券評価損益 (△は益)	9	1,466
売上債権の増減額 (△は増加)	1,979	1,934
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,021	406
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,632	△428
その他	△834	△934
小計	2,783	6,425
利息及び配当金の受取額	139	155
利息の支払額	△76	△64
法人税等の支払額	△1,375	△274
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,470	6,242
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△99	31
有価証券の取得による支出	△606	—
有価証券の売却及び償還による収入	—	600
有形固定資産の取得による支出	△1,771	△522
無形固定資産の取得による支出	△502	△707
投資有価証券の取得による支出	△3,137	△931
保険積立金の解約による収入	120	416
その他	△11	△308
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,007	△1,422
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△6	△6
自己株式の取得による支出	△0	—
自己株式の売却による収入	1,716	0
配当金の支払額	△880	△905
その他	29	82
財務活動によるキャッシュ・フロー	859	△829
現金及び現金同等物に係る換算差額	△134	79
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,812	4,069
現金及び現金同等物の期首残高	26,007	11,934
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,195	16,003

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。